

ま ち の 話 題



「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」

日常で感じている不便さを取り除けるツールとして

NTT西日本沖縄支店長本田健一さんから5名が3月2日八重瀬町役場を訪ねし平成19年版「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」の贈呈を行いました。25年目となる本手帳は、耳や言葉の不自由な方が、外出先で電話連絡電話連絡等をする場合に、要件や連絡先等を書いて、近くの方に協力をお願いするツールとして発行しています。本田さんは、「耳や言葉の不自由な方がこの手帳を使うことで日常の中で感じている不便さを取り除けるようにより多くの方々に本手帳のことを知ってもらいたい」と手帳の活用を促しました。



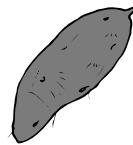
世界シーサー ルーツ展

～海を渡った伝説の獣～開幕

2月18日(旧正月)、おきなわワールド文化王国・玉泉洞(王国歴史博物館)にて世界シーサー ルーツ展 ～海を渡った伝説の獣～が開幕しました。オープニングでは、中国の獅子・梁山泊スーパー獅子舞(南城市佐敷津波古)の演舞で幕が開き、来賓の沖縄県博物館協会 大城和喜会長をはじめ、壺屋陶器事業協同組合 島袋常栄理事長、南城市教育委員会・南城市前川区子供会・八重瀬町富盛区子供会を招待しました。前川区子供会・富盛区子供会は、博物館内にて漆喰シーサー絵付け体験を行いました。



老人クラブ連合会 山芋の重量でスーパ(勝負)



第1回山芋スーパ(勝負)が3月8日、八重瀬町社会福祉協議会(本所)で行われ各字老人会の代表者が集い山芋一株あたりの重量を競い合いました。この取り組みは、老人クラブ連合会主催で、単位クラブの育成をはじめ、山芋の栽培活動を通して生きがいや健康増進の一環としてその成果を披露し相互の融和を図ることを目的に開催しています。競い合いの結果、優勝は、伊覇老人クラブ(二株の重量18.5kg)でした。老人クラブ連合会会長の屋宜宣文さんは、「来年は、婦人会なども連携して山芋料理なども研究し、相互の融和を図ってきたい」と話しました。



屋宜原自治会 コミュニティセンターの完成

屋宜原土地区画整理事業の換地計画による移転に伴って、平成18年8月から工事着手していた待望の屋宜原自治会コミュニティセンター(集会施設)が、今年3月に完成しました。同センターは、(財)自治総合センターのコミュニティセンター助成事業の助成金を建設費に充て、屋宜原自治会が事業者となり実施しました。当助成事業は、宝くじの収益の一部をコミュニティの健全な発達と宝くじの普及広報に役立てるために実施されるものです。

同センターの建物概要は、鉄筋コンクリート造平屋建てで、建築面積は229.4平方メートル、床面積は198.6平方メートルとなっています。また、地域コミュニティ活動の拠点として、玄関ホール、大ホール、会議室、事務所兼放送室、倉庫兼準備室、調理室等が配備されています。同センターは、落成式典の後に、屋宜原自治会のコミュニティ活動の場として有効に活用されることとなります。



平成19年3月に完成した屋宜原自治会コミュニティセンター(屋宜原土地区画整理事業地内44街区①②画地(仮換地))